

Q.

金利上昇は株価に悪影響があるの？

A.

金利上昇によって株価は短期的に調整することもあります。景気拡大を背景とした金利上昇の場合、株価は中長期的に上昇する傾向があります。

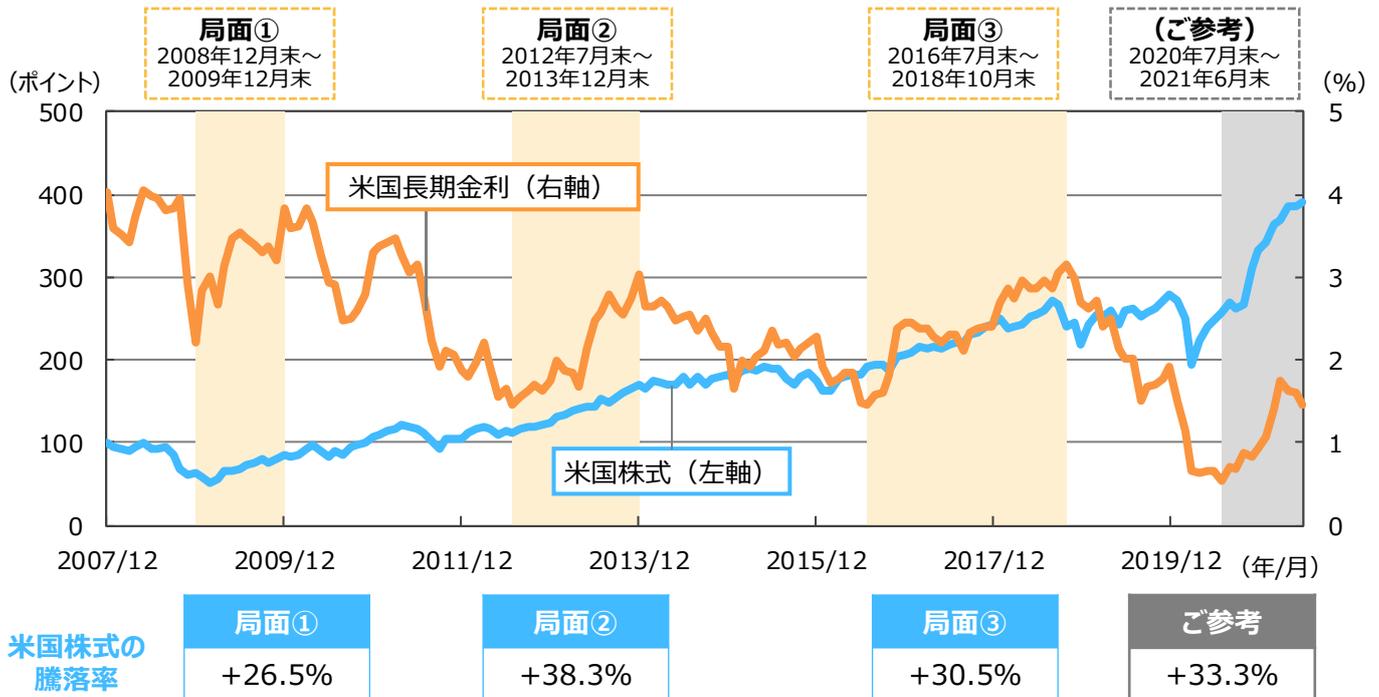
景気が回復し、持続的な拡大が見込まれる環境下では、企業の生産活動は活発化します。その結果、資金調達ニーズが高まり、金利上昇につながります。また、企業業績向上への期待が高まるため、投資対象として債券よりも株式が選好され、株価上昇につながります。

このような景気拡大を背景とした金利上昇の場合、株価は短期的には調整することもあります。中長期的には上昇する傾向があります。2008年以降の金利上昇局面においては、米国株式はいずれも上昇しました。

### 過去の金利上昇局面において、米国株式は上昇

＜米国株式および米国長期金利の推移と金利上昇局面における米国株式の騰落率＞

2007年12月末～2021年6月末、月次



(注1) 米国株式は2007年12月末を100として指数化。

(注2) 米国株式はS&P500（配当込み、米ドルベース）。米国長期金利は米国10年国債利回り。金利上昇局面は1年以上にわたり米国長期金利が1%以上上昇した局面。

(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

※上記は過去の実績であり、将来の投資成果や今後の市場環境等を示唆あるいは保証するものではありません。

※この資料の最終ページに重要な注意事項を記載しております。必ずご確認ください。

## (ご参考) 金利上昇局面における米国株式のセクター別騰落率 (%)

セクター名	局面① 2008年12月末～ 2009年12月末	局面② 2012年7月末～ 2013年12月末	局面③ 2016年7月末～ 2018年10月末	(ご参考) 2020年7月末～ 2021年6月末
情報技術	62	29	63	35
素材	49	37	13	39
一般消費財・サービス	41	57	33	26
資本財・サービス	21	50	22	45
不動産	21	-1	0	27
ヘルスケア	20	49	23	21
金融	17	53	42	56
生活必需品	15	25	8	15
エネルギー	14	29	6	57
公益事業	12	7	11	7
コミュニケーション・サービス	9	6	-8	39
米国株式全体	26	38	31	33

(注1) 米国株式全体はS&P500の騰落率、セクターはS&P500のセクター別騰落率（いずれも配当込み、米ドルベース）。セクターはGICS（世界産業分類基準）のセクター分類。

(注2) 網掛けは米国株式全体を上回ったセクター。

(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

※ 上記は過去の実績であり、将来の投資成果や今後の市場環境等を示唆あるいは保証するものではありません。

### 【重要な注意事項】

■ 当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■ 当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■ 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■ 当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■ 当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■ 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■ 当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。